

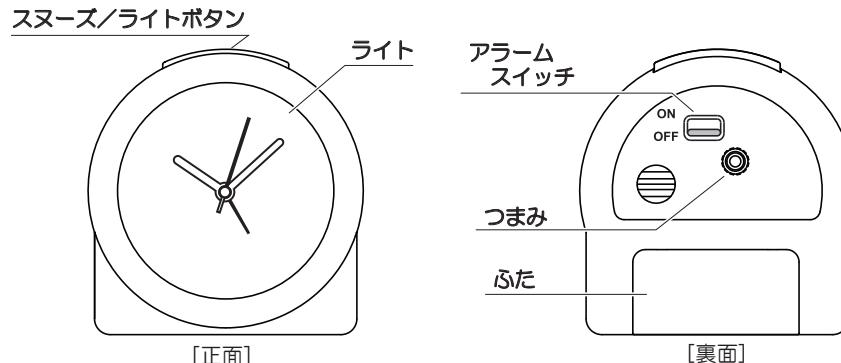
目ざまし時計

取扱説明書

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用ください。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

ご使用方法 ▶ (時計により外観やスイッチ、ボタンなどの位置・形状が異なりますが、操作方法は同じです。)

■各部の名称



■ 1~5 の手順に従って操作してください。

1 電池を入れる(単3形乾電池 1個)

裏面のふたを開けて、 \ominus 側から入れてください。
※電池は $+$ \ominus の向きを間違えないように注意してください。
※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。



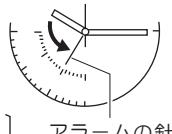
2 現在時刻を合わせる

つまみを手前に引いて回し、現在時刻に合わせてください。
(左右どちらに回してもかまいません)
合わせたあとつまみを押して戻してください。

3 アラーム時刻をセットする

つまみを押し込んだ状態で回してください。

- アラーム時刻を合わせるときは、アラームの針を、必ず \curvearrowleft 方向(反時計まわり)に回してください。
- アラームは、セットした時刻の7分前から7分過ぎの間に鳴りだします。
〔例えば、7時に合わせたとき、6時53分から7時7分の間に鳴りだします。〕



※時計まわりにアラームの針を回すと、
セットした時刻より早く鳴りだすことがあります。

4 アラームを鳴らす/アラームを鳴らさない

アラームスイッチを「ON」にする

-----セットした時刻になるとアラームが鳴ります。

アラームスイッチを「OFF」にする

-----アラームは鳴りません。

この取扱説明書の内容は、将来予告なく変更することがあります。あらかじめご承知ください。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じた、いかなる支出、損益、その他の損失に対して、弊社は一切の責任を負いません。
この取扱説明書の内容の一部またはすべてを、製造者の許可なく転載・変更・複製することは禁じられています。

5 嘩っているアラームを一度止めて、約5分後に再び鳴らす(スヌーズ機能)

スヌーズ/ライトボタンを押してください。
●スヌーズ機能は、アラームが鳴りだしてから20~60分間くり返すことができます。
寝すぎ防止にご利用ください。
※アラームを完全に止めるには、アラームスイッチをOFFにしてください。

▶ ライトについて

スヌーズ/ライトボタンを押している間ライトが点灯します。

製品仕様

▶ (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 精度 : 平均月差士30秒(気温5°C~35°Cで使用した場合)
- 使用温度範囲 : 0°C~40°C
- アラーム : 電子音、約5分間スヌーズ
- アラーム精度 : 士7分
- 使用電池 : 単3形乾電池 1個
- 電池寿命 : 約1年

※単3アルカリ乾電池(LR6)を使用時
※1日につきアラームを10秒間/ライトを2回使用した場合

▲ご使用条件により電池寿命が短くなります。

付属品

- モニター用電池(単3形乾電池) 1個
- 取扱説明書/保証書(本書) 1枚

※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池(お試し用電池)です。
お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることができます。

本製品、またはアフターサービスなどについてご不明なことがありましたら、製品の裏面または底面に表示されている製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

(例: AM000、KRO00、SQ000など)

お客様相談室 0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

説明書番号 DFD-057P

必ずお守りください。安全上のご注意 ►

⚠ 警 告

<アルカリ電池について>

- (1) ショートさせたり、分解、加熱、火への投入などは行わないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

窒息する恐れがありますので、ポリ袋を絶対にかぶらないでください。

⚠ 注 意

<時計の設置場所について>

落下により、けがをしたり器物を破損する恐れがありますので、振動のある場所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<電池について>

下記の注意事項を必ず守ってください。電池の使い方を間違えると、液漏れや破裂によるけがの恐れがあり、また、機器の故障の原因となります。

- (1) 電池は必ず ⊖ 側から入れてください。また、⊕⊖を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様に記載された電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていても、すべて新しい電池と交換してください。また、時計を使わないときは、電池をすべて取り外してください。電池を入れたままにしておくと、古い電池からの液漏れなどにより、時計や周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 付属の電池は充電式ではありません。充電すると液漏れや破損の恐れがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴を付けないでください。
- (5) 直射日光の当たる場所や、高温・多湿の場所を避けて保管してください。また、使用済の電池は速やかに処分するか、幼児の手の届かない所に保管してください。
- (6) 時計が動かない場合などは、電池の端子が汚れていることがあります。そのときは、やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は、工場出荷時に同梱された、動作を確認するためのモニター用電池（お試し用電池）です。したがって、お買い上げ後、製品仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることができます。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池を使用しないでください。正常に動作しなかったり、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<時計と電池の廃棄について>

お住まいの自治体の定める規則に従い、廃棄してください。

必ずお読みになってからご使用ください。 ►

使用場所について

下記のような場所では使用しないでください。

- 時計や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また、本製品は業務用ではありません。
- 温度が40°C以上になる所や直射日光の当たる所。
(例) 屋外、または暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 温度が0°C以下になる所。
プラスチック製の部品や電池が劣化することがあります。
- ちり・ほこりの多い所。
空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まり、時計が止まることがあります。
- 大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。
磁力の影響で、進み・遅れが生じたり、時計が止まることがあります。
- 浴室など湿度が90%以上になる所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接当たるような所。
- 振動のある所。不安定な所。
- 工場、台所など、多くの油を使用する所。
霧状になった油分が時計の歯車などに付着し、時計が止まることがあります。
- ピニール系素材の壁、敷物などの上。
壁や敷物、および時計が汚れたり傷むことがあります。
- 木枠の時計の場合は、空気が非常に乾燥した状態や温気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40°C以上の高温になると、接合部が変形したり損傷することがあります。
- 寒い所から暖かい所への移動などによる、急激な温度変化を避けてください。
(結露に注意してください)

お手入れについて

末永くご愛用いただくために、2~3年に一度の点検・調整（有料）をお勧めします。詳しくは販売店にご相談ください。

- お手入れの際、ベンジン、シンナー、アルコール、磨き粉、各種プラスチックなどは使用しないでください。また、殺虫剤、ヘアスプレーなどがかかるないようにしてください。変色したり、傷が付く恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

- 枠を清掃するときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少量、やわらかい布に含ませてふいてください。その後、やわらかい布で乾ぶきしてください。

木枠・金属枠の時計の場合

- 汚れやほこりを取るときは、やわらかい布で乾ぶきしてください。

※お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。
また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。

保証・アフターサービス ►

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については付属の保証書をご覧ください。なお、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも日本国内のみの対応となります。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、販売店がお預かりし、メーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名が捺印された保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品、および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は、製造終了後3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは、製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。なお、修理可能な期間は、ご使用条件により異なります。また、修理可能な場合でも、元どおりの精度とならない場合があります。販売店とよくご相談ください。
- 修理の際、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間外、または無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、販売店と修理工場との間の往復運賃など、諸費用をお客様にご負担いただきます。なお、修理代金が標準小売価格を上回る場合があります。あらかじめご承知ください。
- 保証期間中・経過後ともに、修理を依頼されるときは本製品を販売店にご持参ください。
- お客様が本製品を分解されると、修理不可能となる場合があります。また、けがの恐れがあり大変危険です。さらに、保証の対象外となりますので、ご注意ください。
- ご不明な点は、お客様相談室にお問い合わせください。

故障かなと思ったときには ►

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症 状	考えられる原因	処 置
針が動かない。	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。 また、電池を入れて2~3回まわしてください。
アラームが鳴らない。	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・静電気等による誤作動。 ・電池容量が少ない。	・アラームスイッチをONにしてください。 ・電池を入れ直してください。 ・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。
アラーム時刻になつたら針が止まった。	・電池容量が少ない。	・新しい電池を、電池の向きを確かめて入れてください。